

補助事業番号 21-132

補助事業名 平成21年度産業高度情報化促進支援等補助事業

補助事業者名 社団法人日本情報システム・ユーザー協会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

ITガバナンス普及の観点から、一方向の情報の伝達から、ユーザー企業参加型のインタラクティブな情報交換の場（スクエア）を経営層に提供し、機械工業を含む産業の高度情報化の促進に寄与することを目的とし、産業全体のIT活用のレベルアップに貢献することにより、もって機械工業の振興に寄与する。

### (2) 具体的な実施内容・成果

#### ①JUAS スクエア「ITガバナンス 2009」

～ビジネスイノベーションの実践に向けて～

9月2日（水）・3日（木）の2日間、JUAS スクエア「ITガバナンス 2009」を、ハイアットリージェンシー東京（東京・新宿）にて開催した。事前登録者数は828名、また2日間でのべ参加者数は1,234名となり、前年度同様の参加人数となった。

今年度は、「ビジネスイノベーションの実践に向けて～今こそITで変革をプロデュースする」をテーマに設定し、これからのIT部門の活動のあり方を問うた。

先進的企業経営者の基調講演や基調パネル、日本を代表するITベンダーの講演、対談、また、「新ビジネスモデル・価値の創造」「ビジネスプロセスの革新」「IT組織の革新」についての事例紹介やコンサルティングセッションを実施した。例年好評の参加型公開討論会「ディスカッションテーブル」では、有意義な議論が展開されたとともに、学の立場からの双方向型講演では新たな知見が公開された。

初日の基調講演は、味の素株式会社 代表取締役社長の山口範雄氏を迎え、『これからの企業の氏名と実践に向けて』というテーマで講演をいただいた。

また、初日は特別対談を実施した。

『メインフレーム世代からのメッセージ』と題し、株式会社アイ・アイ・エムの代表取締役社長 河野知行氏と、ガートナージャパン株式会社のリサーチバイスプレジデント松原榮一氏の特別対談を実施し、クラウドの時代に備えて、今行なっておくべき事は何か、討議を深めた。

2日目の基調パネルには、『成長へのイノベーション：日本企業の「次の一手」

を問う』をテーマに、トヨタ自動車株式会社 常務役員の大西弘致氏と花王株式会社 理事 情報システム部門統括の大路延憲氏にパネルディスカッションをいただいた。

また、ビジネスイノベーションにおける「顧客志向経営/新ビジネスモデル・価値の創造」「ビジネスプロセスの革新」について、あるいはビジネスイノベーションを支える「ITの革新を実現する新しい技術と手法」「企業風土・IT組織の革新」についての事例紹介とコンサルティングセッションを実施した。

さらに、参加型の公開討論会「ディスカッションテーブル」では、事前討議したテーマについて有意義な議論を実施できた。議長団を中心とした事前のミーティングにて検討された課題を討議するとともに、参加した方からも活発な意見が出て、充実したディスカッションが展開された。

そして、今回、初めて実施した双方向型講演では、東京大学生産技術研究所教授 喜連川優氏が「情報大航海プロジェクトと情報爆発プロジェクト」爆発する情報を好機とみなし、無限のビジネスを創り出すをテーマに、参加者と相互に意見交換をしながらのセッションとなった。

プログラムの詳細は、下記を参照。

<http://www.juas-square.com/>

カンファレンス形式の情報提供を実施した結果、極めて大きな反響を得た。特に、オータムステージは、これまでの実績と充実したプログラム構成により、800名を越す事前登録者があり、また、当日の来場者数も2日間合計で1,338名に達した。

特に反響の大きかったプログラムは、公開討論会「ディスカッションテーブル」で、定員150名ほどの会場が満員になった回もあり、テレビ中継を実施した。参加者の満足度も高く、ユーザーが自分達の意見を発する場として、本年度も一定の評価を得ている。

これに加えて、ユーザー企業のIT責任者が自らの経験を踏まえて事例を講演するプログラム、および、アカデミーを含む専門家が、専門的見地から課題を整理・アドバイスするプログラムを複合して提供し、参加者からは高い評価を得ており、参加者アンケートでは9割以上が「知人、同僚に推薦したい」と回答している。

## 2. 事業実施効果

### ビジネスイノベーションステージの開催事業

産業の競争力強化は個々の企業、産業の努力はもとより、企業間、産業間の連携

や協同が必要である。

本事業を通じて、競争力強化に寄与する IT 活動に関してユーザーとベンダーとの連携と協同のあり方が示されたことにより、ユーザー、ベンダーともに今後の経営革新への多くの示唆を獲得した。

3. 本事業により作成した印刷物

ビジネスイノベーションステージの開催事業：DM、プログラムガイド、テキスト

4. 補助事業者連絡先

|        |   |
|--------|---|
| 団体名    | 社団法人 日本情報システム・ユーザー協会<br>(ニホンジョウホウシステム・ユーザーキョウカイ)          |
| 住所     | 〒103 - 0012<br>東京都中央区日本橋堀留町 1-10-11                       |
| 代表者    | 会長 石原 邦夫 (イシハラクニオ)  |
| 担当部署   | 事務局長  |
| 担当者名   | 三木 徹 (ミキトオル)  |
| 電話番号   | 03-3249-4101  |
| F A X  | 03-5645-8493  |
| U R L  | <a href="http://www.juas.or.jp">http://www.juas.or.jp</a> |
| E-mail | <a href="mailto:miki@juas.or.jp">miki@juas.or.jp</a>      |

以上